

暴力の連鎖をやめ、パレスチナ問題解決の努力を！

イスラエルは、ガザへの武力侵攻をするな！

ハマスはただちに人質を釈放し、挑発行為をやめよ！

10月7日のパレスチナのイスラム組織「ハマス」によるイスラエルの民間人の殺傷と拉致は、パレスチナ人の自治領ガザ地区へのイスラエル軍の大規模な攻撃となり、一般市民の殺傷と破壊が続いています。

イスラエル軍は、ガザ地区住民の退去を求め、地上侵攻を準備しており、アメリカのバイデン大統領やプリンケン国務長官も、イスラエルを支持し、これを止めようとはしていません。もし、地上侵攻が強行されるならガザ地区は人道上許されない惨劇の場となりかねません。

国連の安保理事会では、ブラジル政府が人道支援のために武力行動の一時停止を緊急に提案し、12カ国が賛成しましたがただ一国、アメリカだけの拒否権で否決されました（棄権2）。

事態の発端となったイスラエルによる一般市民への攻撃、殺傷、拉致は、国際人道法に照らしても許されない行為です。同時に、もともと国連決議でもパレスチナの地とされ、200万余の人々の命と暮らしを危うくする地上侵攻は、絶対にやめさせ、封鎖を解かせなければなりません。

世界でも今、国連をはじめ多くの国の政府と市民が、イスラエルに攻撃と封鎖、地上侵攻をやめ、軍事行動を停止するよう求めています。「ハマス」もただちに人質を釈放し、挑発行動をやめるべきです。(2023・10・24)



決議案に賛成した理事国メンバーの様子
UN Photo/Evan Schneider 2023/10/18

パレスチナでの、暴力の悪循環に終止符を打ち、中東に平和と正義を実現するために、すべての当事者に武力行動をやめさせ、ガザ地区の封鎖を解き、人道支援を実現しましょう。

パネル討論 | 2023年 国連年縮週間特別企画

危機の中で国連と
日本の役割を考える
— 核兵器禁止条約による
安全保障こそ人類を救う道

YouTube
LIVESTREAM
オンライン配信あり
期間限定アーカイブもあります

原水爆禁止日本協議会
(日本原水協)

東京都文京区湯島 2-4-4
平和と労働センター 6階
TEL:03-5842-6031

MAIL:antiatom55@hotmail.com

